

バンドフェスティバル 2012

11月4日、市内の小・中学校や高専、一般の吹奏楽団6団体が一堂に会し「合志市バンドフェスティバル 2012」を開催しました。

このフェスティバルは互いの演奏を聴き合い、各団体のレベルの向上と、交流を目的に開催した演奏会です。各団体ともそれぞれの特徴を生かし、趣向を凝らした演奏で、満席の観衆を魅了しました。

フィナーレでは、約200人の参加者全員で「ピリッ」の大合奏&大合唱を行ないました。



心が一つになったフィナーレ

社会貢献地域清掃活動

10月24日、セミコンテクノパーク協議会が社会貢献と企業間の交流を目的として清掃活動を行ないました。

この活動は、セミコンテクノパークに立地する企業17社が、例年この時期に行なっているもので、当日は約80人の参加者が、道路沿いの植込みの中や、公園などを中心に、燃えるごみや空き缶などを回収しました。

また、同パークでは美しい雇用環境を目指して普段から美化作業に取り組んでいます。

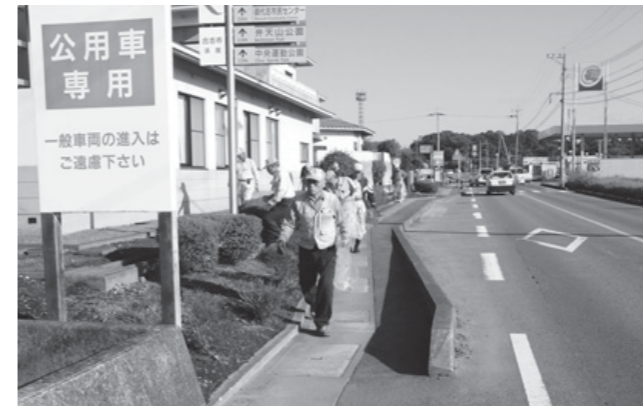


心地良い汗をかきました

シルバーの日ボランティア美化作業

公益社団法人合志市シルバー人材センターでは、例年10月の「シルバーの日」に、地域住民に対して、広く同センター事業の周知・啓発を図る目的で、ボランティア美化作業を実施しています。

今年は10月19日に会員約80人が参加し、合志庁舎、西合志庁舎など5カ所の公共施設周辺を手分けして、雑草刈り、掃き掃除、空き缶拾いなどを行ないました。



老人憩いの家前での作業

人権への取り組みに感謝状

長年にわたって人権擁護委員として活動している東窪正一郎さん（杉並台）に、人権擁護活動に功績があったとして、10月2日付で法務大臣から感謝状が贈られました。

東窪さんは、平成13年から現在まで、人権に関する相談活動や人権擁護活動に尽力し、地域における人権啓発に大きく貢献されました。

感謝状の伝達式には、他の人権擁護委員なども同席し、東窪さんの功績をたたえました。



感謝状を受け取った東窪さん（写真前列左）

認知症の人を地域で支えあいましょう

11月18日、黒石市民センターで、認知症を理解し助け合い、支え合う地域社会をつくることを目指した「認知症の方を地域でささえあう体験会」を開催しました。(有)ひとちいき計画ネットワーク佐伯謙介さんの講演と市社会福祉協議会「はってん組」による認知症にわか劇、参加者による声かけ体験を行ないました。

地域の人や区長、民生児童委員など多くの参加があり、「対応にとまどった」「若い人への認知症の啓発の必要性を感じた」などの意見がありました。



徘徊役の人への声かけ

上庄城山まつり

10月28日、竹迫城跡公園で「第18回上庄城山まつり」が開催されました。

この祭りは、上庄城山まつり実行委員会が主催で地域振興を目的に、秋の収穫祭と竹迫城跡公園のPRも兼ねて毎年行なわれています。

合志中部保育園の園児鼓笛隊や、合志小学校4年生による「よさこいソーラン」、上庄区伝統の地つき音頭などさまざまな催しがあり、会場を訪れたたくさんの人たちは祭りを楽しんでいました。



地つき音頭に合わせて唄をうたい綱をひきました

栄工業団地 秋祭り

10月21日、栄工業団地協同組合秋祭り（大澤宏一理事長）が同団地内で開催されました。

この秋祭りは、従業員と地域住民との交流を目的に行なわれており今年で9回目となります。

当日は、秋晴れのもとステージイベントでは、栄保育園児の太鼓演奏やのど自慢大会などでにぎわいを見せました。また、企業出展による飲食コーナーも長蛇の列ができ大盛況でした。



練習の成果を披露（栄保育園児）

薩摩川内がらっば インディアカ大会優勝

10月14日、鹿児島県のサンアリーナ川内で開催された「第16回薩摩川内がらっばインディアカ大会」で、市内のインディアカチーム「Kirisuke」が男女混合の部で優勝しました。

インディアカとは、羽根のついた特殊なボールを直接手で打ち合う、バレーボールタイプのニュースポーツで、年齢問わず誰でも楽しめる競技です。

「Kirisuke」は、結成5年目のチームで、西合志中学校の体育館で週2回練習しています。



昨年に続き2年連続優勝しました 右上の写真はインディアカのボール